



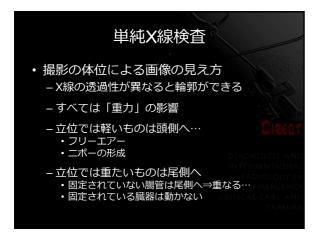
そもそも… 「腹痛」に画像検査は必要か… ・問診; OPQRSTだけではだめ? ・身体所見; 「神の手」ではだめ? ・解剖学的情報の収集… - 身体所見や血液検査所見なども情報の付加 - 画像検査をおこなうことで、情報量up - 現代医学には欠かせない検査のひとつ - 画像の専門医が全てに関与するのは不可能 - 撮影指示、読影…

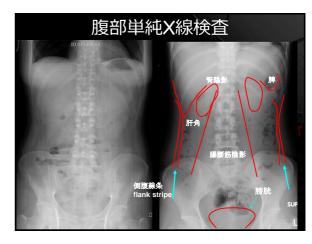
画像検査をおこなう場合 鑑別診断は?何を疑うかで… 腹部炎症性疾患 急性虫垂炎・大腸憩室炎 急性胆嚢炎・急性胆管炎・急性膵炎 上部消化管穿孔・下部消化管穿孔 PID/Fitz-Hugh-Curtis 後腹膜疾患(腎盂腎炎・腎膿瘍・腸腰筋膿瘍) 血管疾患 大動脈瘤破裂・内臓動脈瘤破裂 SMA血栓塞栓症・SMV血栓症・NOMI 腸管疾患 腸閉塞(絞扼性腸閉塞を含む) 上部消化管出血・下部消化管出血

CTをおこなうだけでも… 範囲・造影剤の有無・タイミング・何相? ・ 単純 - 単純を施行してから考える - 単純は不要? - 範囲は?肝臓だけ?骨盤まで?胸部は? ・ 造影 - 急速注入?緩徐注入? - 動脈優位相?門脈相?実質相?

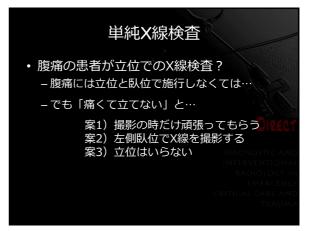




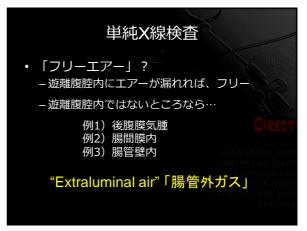


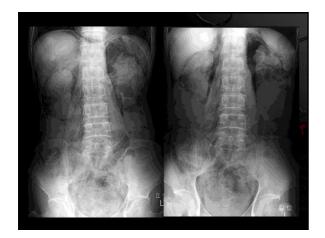




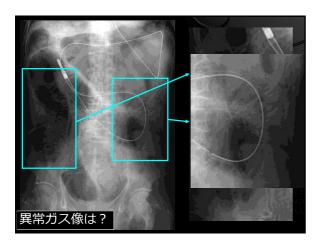


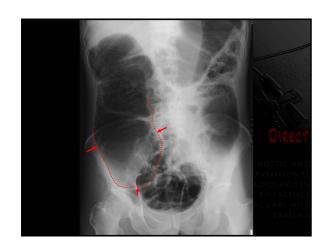




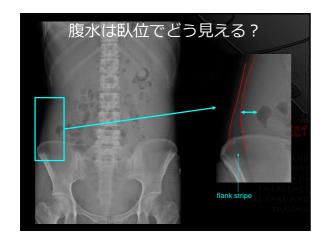


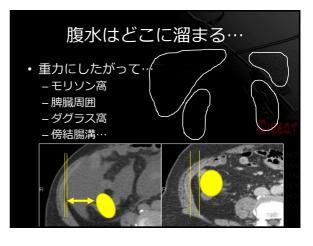
後腹膜気腫・・・ ・後腹膜臓器由来 - 腎泌尿器系;気腫性腎盂腎炎 - 上部消化管;十二指腸下行脚・水平脚の穿孔 - 下部消化管;結腸・直腸の穿孔・穿通



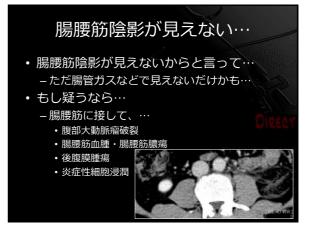


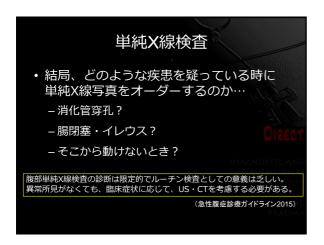






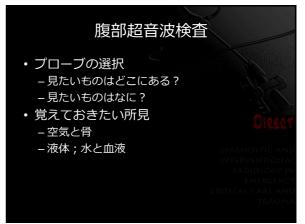








3. 腹部US検査 ・ 超音波検査の基本 ・ どんなときに検査する ・ これだけわかれば十分







腹部超音波検査

- 検査の適応
 - 腹痛すべて
 - 腹部周辺に関わる疾患の除外
- 腹部周辺の疾患
 - 肝臓・胆嚢・膵臓・脾臓・腎臓・子宮・膀胱 ・サイズ・形状・内部の状態(腫瘍・脈管)一大動脈・腹腔動脈・SMA

 - 腹水
 - 腸管

これだけできれば十分

RUSH exam

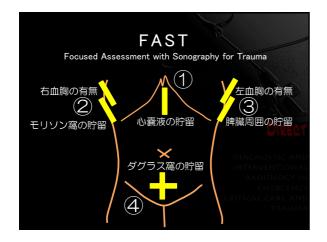
Rapid Ultrasound for Shock; ショックの原因

- Tank;循環血液量(IVC/腹腔内出血/気胸)
- Pump;心臓の収縮能(EF/RV)
- Pipe; 血管(Aorta/DVT)

EFAST

Focused assessment with sonography for trauma

- 外傷の時のショックの原因検索
- 気胸の有無を判断; extended-FAST





これだけできれば十分

RUSH exam

Rapid Ultrasound for Shock; ショックの原因

- Tank;循環血液量(IVC/腹腔内出血/気胸)
- Pump;心臓の収縮能(EF/RV)
- Pipe; 血管 (Aorta/DVT)
- EFAST

Focused assessment with sonography for trauma

- 外傷の時のショックの原因検索
- 気胸の有無を判断; extended-FAST
- 外傷でなければ、…?

US first

· U; useful findings

 S; SMA; SMA血栓塞栓症・SMA解離

腹腔内出血、炎症に伴う腹水貯留 F; fluid;

腸管拡張・(小腸・大腸・虫垂) • I; intestine;

腹部大動脈瘤破裂・解離、腫瘍破裂 R; rupture;

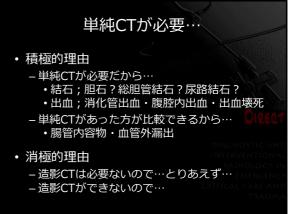
尿管結石・胆石・総胆管結石 S; stone;

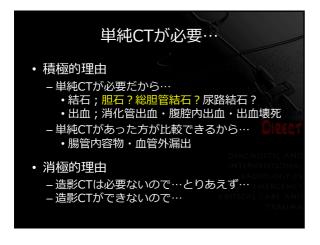
尿管拡張・胆道拡張・主膵管拡張 T; tract;



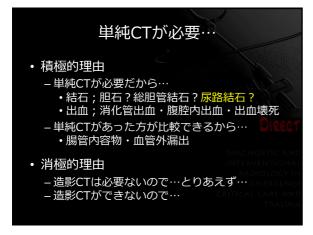
4. 腹部CT検査 ① 単純CTの必要性を判断する ② 造影CTの必要性を判断する ③ 造影CTが可能かどうか判断する ④ 造影CTの必要な相を判断する ⑤ 得られた画像を解釈する ⑥ 臨床所見と照らし合わせる

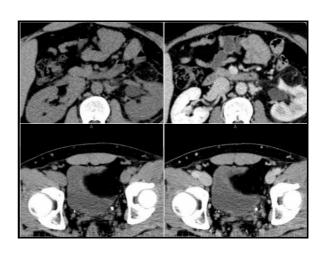
4. 腹部CT検査 ① 単純CTの必要性を判断する ② 造影CTの必要性を判断する ③ 造影CTが可能かどうか判断する ④ 造影CTの必要な相を判断する ⑤ 得られた画像を解釈する ⑥ 臨床所見と照らし合わせる

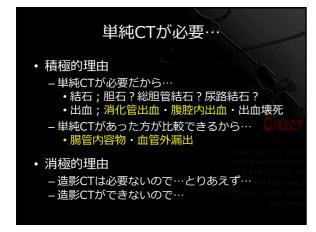


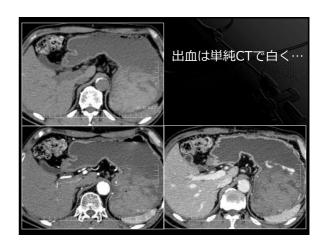


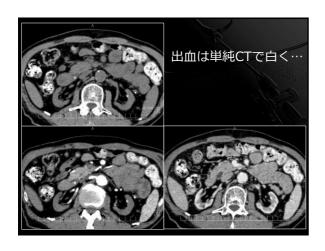


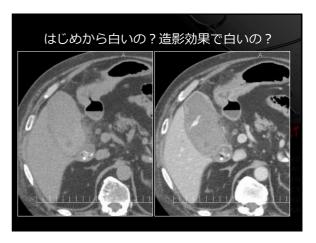












単純CTが必要…

- 積極的理由
 - 単純CTが必要だから…
 - 結石; 胆石? 総胆管結石? 尿路結石?
 - 出血;消化管出血・腹腔内出血・出血壊死
 - 単純CTがあった方が比較できるから…
 - 腸管内容物・血管外漏出
- 消極的理由
 - 造影CTは必要ないので…とりあえず…
 - 造影CTができないので…





単純CTが必要…

- 積極的理由
 - 単純CTが必要だから…
 - •結石;胆石?総胆管結石?尿路結石?
 - ・出血;消化管出血・腹腔内出血・出血壊死
 - 単純CTがあった方が比較できるから…
 - ・腸管内容物・血管外漏出
- 消極的理由
 - 造影CTは必要ないので…とりあえず…
 - 造影CTができないので…

単純CTが必要…

- 積極的理由
 - 単純CTが必要だから…

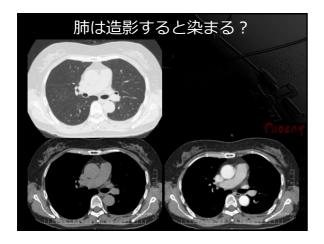
 - ・結石;胆石?総胆管結石?尿路結石? ・出血;消化管出血・腹腔内出血・出血壊死
 - 単純CTがあった方が比較できるから…
 - 腸管内容物 · 血管外漏出
- 消極的理由
 - 造影CTは必要ないので…とりあえず…
 - 造影CTができないので…

4. 腹部CT検査

- ① 単純CTの必要性を判断する
- ② 造影CTの必要性を判断する
- ③ 造影CTが可能かどうか判断する
- ④ 造影CTの必要な相を判断する
- ⑤ 得られた画像を解釈する
- ⑥ 臨床所見と照らし合わせる

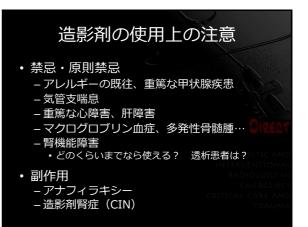
経静脈造影剤の適応 ・臓器の血流を見たい - 造影剤が入れば、その臓器は「白く」 ・肝臓・脾臓・腎臓・… ・脳は? 肺は? - 炎症が存在すれば血流は豊富になり「白く」 ・腸管の炎症? ・血管を評価したい - 血流があるか?走行に問題がないか? - 血管造影・手術の必要性判断および支援材料







4. 腹部CT検査 ① 単純CTの必要性を判断する ② 造影CTの必要性を判断する ③ 造影CTが可能かどうか判断する ④ 造影CTの必要な相を判断する ⑤ 得られた画像を解釈する ⑥ 臨床所見と照らし合わせる



造影剤の使用上の注意

- 禁忌・原則禁忌
 - アレルギーの既往、重篤な甲状腺疾患気管支喘息重篤な心障害、肝障害

 - マクログロブリン血症、多発性骨髄腫…
 - 腎機能障害
 - どのくらいまでなら使える? 透析患者は?
- 副作用
 - アナフィラキシー
 - 造影剤腎症(CIN)

ヨード告影剤を使える?

・ 副作用の危険因子

5倍(0.03%→0.18%) 10倍(0.03%→0.23%) - 造影剤副作用歴;

- 気管支喘息;

3倍(0.03%→0.10%) - 背景に心疾患;

Katayama H et al.: Invest Radiol 26(S1): S33-S36 (1991) Katayama H et al.: Radiology 175(3): 621-628 (1990)

• 副作用を出現しにくくなるために…

- 水分補給?

- 不安?

Morcos SK et al.: Eur Radiol 9(8): 1602-1613 (1999) 尾前弘美: 日本病院会雑誌47(2) 228-230 (2000) 津留英子: 臨床看護15(12): 1815-1820 (1989)

- ステロイド?

造影剤の使用上の注意

- 禁忌・原則禁忌
 - アレルギーの既往、重篤な甲状腺疾患
 - 気管支喘息
 - 重篤な心障害、肝障害
 - マクログロブリン血症、多発性骨髄腫…
- 腎機能障害 ・どのくらいまでなら使える? 透析患者は?
- 副作用
 - アナフィラキシー
 - · 造影剤腎症 (CIN)

腎機能障害では…?

- どのくらいなら造影剤使用する?
 - -Cr? 1.5 2.0
 - eGFR? $\sim 60 \sim 40 \sim 30 \sim$
- 予防的に透析する?
 - 効果が無いので不要

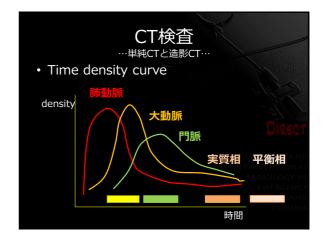
Vogt B: Am J Med 111(9): 692-698 (2001) Kawashima S et al.: Circ J 70(5): 553-558 (2006)

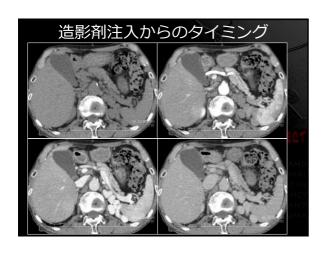
• HD中の患者では、スケジュール変更は?

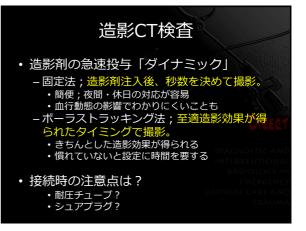
Morcos SK et al.: Eur Radiol 12(12): 3026-3030 (2002)

4. 腹部*C*T検査

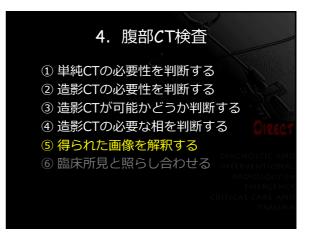
- ① 単純CTの必要性を判断する
- ② 造影CTの必要性を判断する
- ③ 造影CTが可能かどうか判断する
- ④ 造影CTの必要な相を判断する
- ⑤ 得られた画像を解釈する
- ⑥ 臨床所見と照らし合わせる

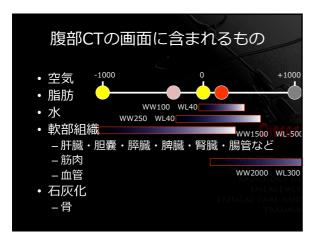


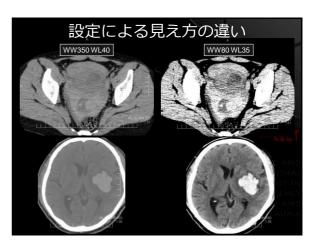




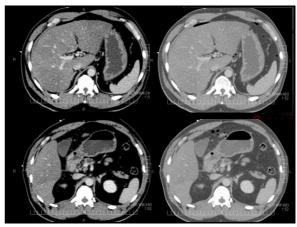






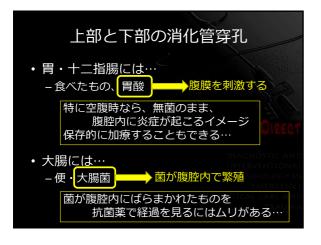


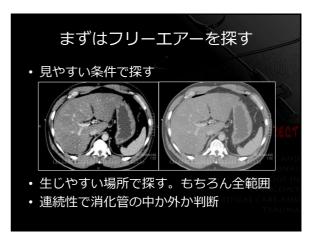


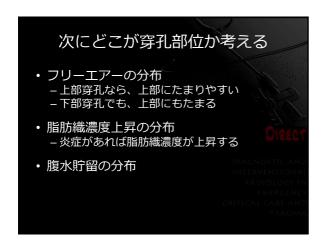


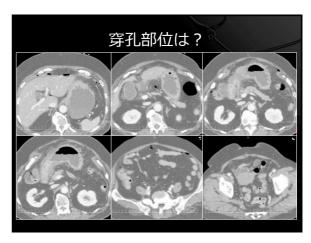
消化管穿孔 ・消化管になぜ穴があく? ・上部と下部で何が違う? ・画像所見から、穿孔部位を見破る ・フリーエアーがわかりにくい穿孔とは?

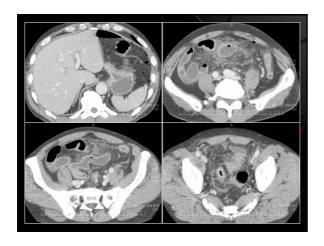






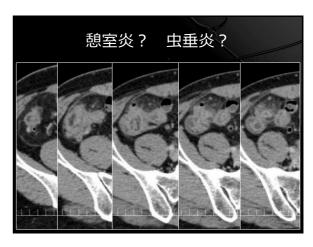


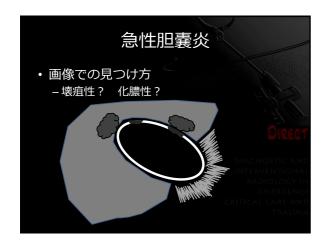


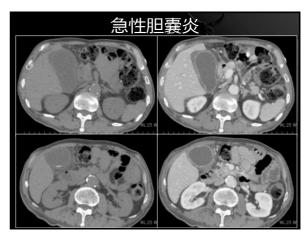


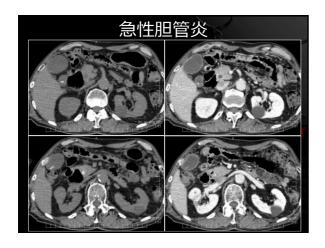




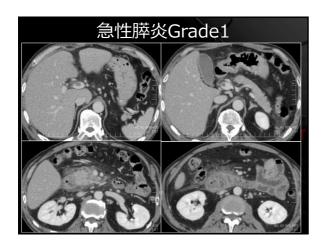


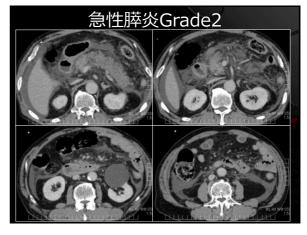




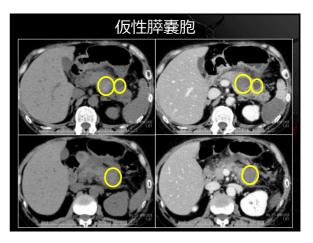


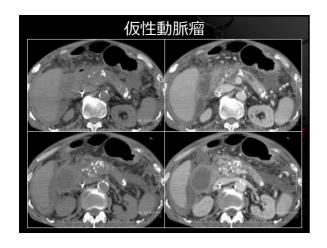


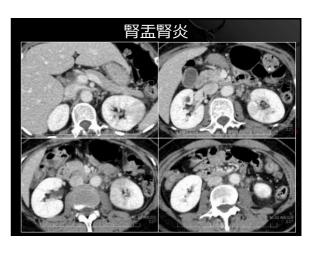


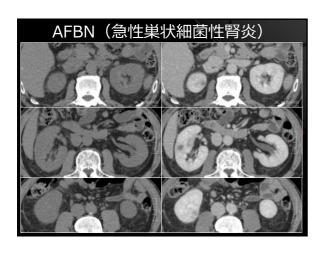


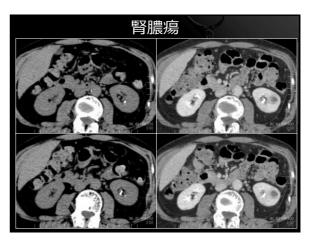






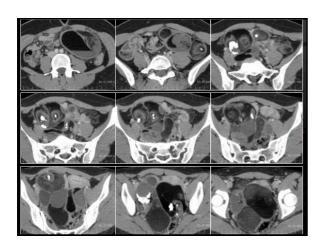


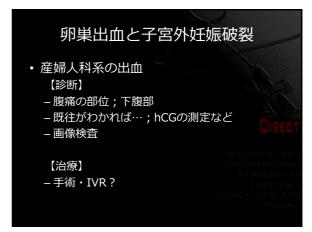


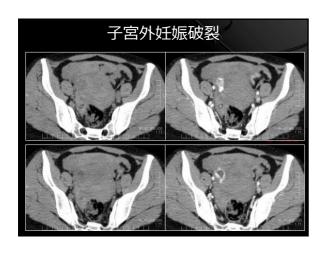




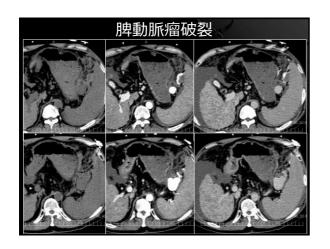




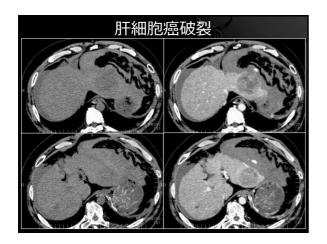


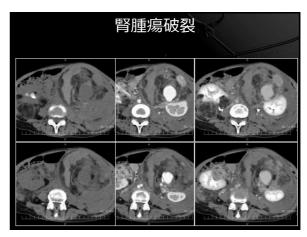






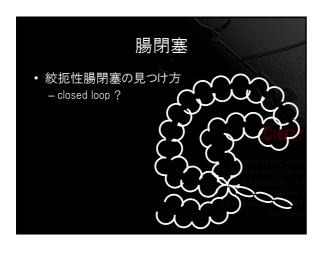


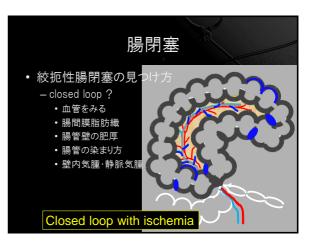




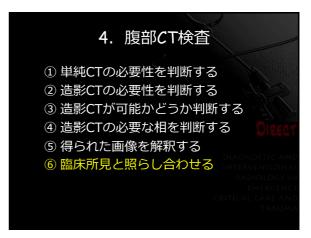








腫瘍破裂の画像所見のポイント ・血流豊富な腫瘍の存在 ・腫瘍が突出していること ・単純CTで高吸収な腹水 ・造影で仮性動脈瘤や血管外漏出





画像検査&画像診断
診断・治療のための手がかりの一つ
適応と限界を考えて
画像診断がすべてではない
検査する以上は正確な読影を
最終診断は「患者」を診て